

## ジュニア NISA にはどのような投信が向いているのか ～その参考となる米国の 529 プラン (教育資金積立制度) の徹底理解～

三菱 UFJ 国際投信株式会社 商品企画部 松尾 健治 (まつお けんじ)

- 12月半ばにもジュニアNISA向け投信の準備がされる可能性がある。どのような投信が向いているのだろうか。
- 現行NISAと同様、既存投資家が元々保有している投信と同様の投資行動を取る可能性は高いものの、原則18歳になるまで払い出しが制限され、年齢次第で非課税投資が最長20年近くにもなることから、より長期投資志向、よりアセットアロケーション型志向が出てくる可能性もある。
- 歴史がある米国の529プランでは、「13～18歳：モデレート (株20～50%)」が純資産2位、年初来純設定1位と、大きい存在である。ここに現在50～69歳の「ベビー・ブーマー」(1946～1964年生まれ)等が、その子もしくは孫の529プランを使って投資をしている可能性がある。
- 日本は0～19歳の人口比率が米国より低い、世界最高齢の国で「第一次ベビーブーマーもしくは団塊の世代」と「第二次ベビーブーマー」の2つの世代の資金がジュニアNISAには期待できる。「7～12歳」や「13～18歳」の孫もしくは子という所で安定的な純流入が起こる可能性がある。
- 米国の529プランや人口動態等を参考にしながら、日本でも、適切なジュニアNISA向け投信が準備されることを期待する。

### 12月半ばにもジュニア NISA 向け投信が 準備される可能性

2016年4月からジュニアNISAでの投資が可能となる。投資可能となるまで、まだ半年近くあるものの、申込み受付開始は2016年1月からなので、それまでならあと約3ヵ月となる。金融機関の中には既に2015年8月半ばから、口座開設書類の郵送予約をしている所もある。

現行NISAの時は、2014年1月から投資可能で、申込み受付開始は2013年10月から、そして、金融機関は2013年3月終わりから口座開設書類郵送予約をしていた。申込み受付開始の直前、2013年9月17日時点において「予約件数は200万を超えた。…(略)…」。各社がNISA用として勤める既存投信や新たに投入する専用投信を集計したところ、ファンド数はすでに172本に達した(2013年9月18日付日本経済新聞朝刊)と報じられていた。このことから、ジュニアNISAでも、申込み受付開始のすぐ前、2015年12月半ばにもジュニアNISA向け投信が準備される可能性がある。

ジュニアNISA向け投信としては、どのような投信が向いているのだろうか。現行NISAは、既存投資家が従来と同様の投資行動を取ることも多く、NISAでも元々投資していた投信と同様の投信が保有されることも多かった。た

だ、そうした中、NISAで初めて投資をした新規投資家等がアセットアロケーション型を志向するなど、既存投資家とは違う投資行動を見せている(ジュニアNISA及び現行NISAの投資行動については三菱UFJ国際投信株式会社ホームページ・コラム「日本版ISAの道」を参照：<http://www.kokusai-am.co.jp/isa/index.html>)。

ジュニアNISAでの投資行動について、「現段階では投資について学ぶ子どもは少なく、どうしても預金に資金が回ってしまう(2014年7月14日の日経QUICK)などという意見もある。ただ、ジュニアNISAは祖父母や親といった親権者等が、孫や子などの未成年親族の名義で口座を開設し、親権者等が運用や管理を行うもので、子どもが投資について学ぶことは必ずしも不可欠の条件ではない。また、ジュニアNISAの範となった英国の「ジュニアISA」には預金型があるが、日本のジュニアNISAにはこれがないので資金が預金に回ることもない。

そのため、ジュニアNISAでも、現行NISAと同様、既存投資家が元々保有している投信と同様の投資行動を取る可能性は高い。ただ、現行NISAで新たに投資を始めた人たちが既存投資家と違う投資行動をしたように、ジュニアNISAならではの投資行動が現れる可能性がある。現行NISAと違い、原則18歳になるまで払い出しが制限

され、年齢次第で非課税投資が最長20年近くにもなることから、より長期投資志向、よりアセットアロケーション型志向が出てくる可能性もある。

### ジュニアNISAでの投資行動において参考となる米国の「529プラン」

ジュニアNISA向け投信として、どのような投信が向いているかだが、ここはジュニアNISAの範となった英国のジュニアISAを参考にしたいものだ。しかし英国のジュニアISAは2011年11月から始まったばかりで参考となる

データが少ない。英国には2005年4月から始まった「チャイルド・トラスト・ファンド（CTF）」という似た制度はあるものの、こちらは2011年1月から申込み受付が停止されている。さらに、英国のジュニアISAには預金型があり、その2014-2015年度（2014年4月6日～2015年4月5日）における拠出が36.5万口座/4億500万英鎊（約753億円）と、投信への投資が可能な株式型14.5万口座/1億7700万英鎊（約329億円）を大きく上回っている（2015年8月28日発表HMRC/英国歳入税関庁データより）、一層、参考になりにくい。ちなみにジュニア

テーブル① 日本のジュニアNISA、英国のジュニアISA、米国の529プラン

項目	 日本 日本のジュニアNISA (未成年者口座内の少額上場株式等に係る配当所得及び譲渡所得等の非課税措置)	 英国 英国のジュニアISA (Junior Individual Savings Accounts (子供のための個人貯蓄口座))	 米国 米国の529プラン (教育資金積立制度) 大学教育資金貯蓄(カレッジ・セービング・プラン)型
制度を利用可能な者	20歳未満の日本居住者など(名義者) *1月1日において20歳未満およびその年に出生した者。 *祖父母や両親等(親権者等)が孫や子どもの名義で投資。	18歳未満の英国居住の子ども(名義者) *口座開設は子どもの親権者のみ、資金拠出は子どもの両親や祖父母など誰でも可。 *2005年4月から開始され2011年1月からは新規開設停止となったチャイルド・トラスト・ファンド/Child Trust Fund savings account/CTF(2002年9月1日～2011年1月2日生まれ)の非開設者。CTFからジュニアISAへの移管は2015年4月以降可。 *16歳以上～18歳未満は、子ども本人または親権者が口座開設可。 *18歳になると自動的にアダルトレギュラーISAに、16歳以上～18歳未満はアダルトISA預金型とジュニアISA預金型の両口座開設可。	米国民または居住者(所得・年齢制限なし) *誰でも加入することができ、受益者も1口座につき1人となるが誰でもよく、親戚、友人、自分自身としても可。居住していない州の提供する529プランの利用も可。ただし、資金の用途は、将来の高等教育費の支払いに限る。
非課税対象	上場株式・公募株式投資等の配当・譲渡益	株式型・株式・投信・債券・預金型…預金・MMF等向こう5年間にわたりいつも元本の値下がりが5%以下のもの。	投信(含むMMF)など。
非課税投資枠	毎年、新規投資額で80万円を上限 *累積非課税投資額上限400万円。 *生前贈与の場合、NISA以外に贈与があり、合算で年間110万円を超えると、贈与税がかかる(見直し)。下記「贈与税」欄参照。	4080英ポンド(約76万円)を上限 (預金型と株式型の合計) *16歳以上～18歳未満はジュニアISA(4080英ポンド)に加え、アダルトISA預金型(15240英ポンド)も可なので、19320英ポンド(約360万円)を上限。 *累積非課税投資額上限無し。	実質上限なし 州ごとに1受益者上限のある場合もあるが、上限の無い州もあり、複数の州でも開設出来る。
投資可能期間	8年間(2016年～2023年) *口座開設申込は2016年1月1日からで、投資は同年4月1日から(2017年以降はいずれも1月1日から)。	18歳になると自動的にアダルトレギュラーISAへ。	恒久化 *当初は2010年まで、2006年に恒久化。
非課税期間	投資した年から最長5年間 *子どもの年齢により、非課税管理動定または継続管理動定に移管して長期も可(1月1日において20歳である年の前年12月31日まで)。 *20歳でむかえた1月1日以後は(成人)NISAへ移管可。	無制限(年齢制限あり)	無制限
途中売却	原則、18歳になるまで引き出し不可 *3月31日において18歳である年の前年12月31日まで。 *途中で引き出す場合は過去の利益に対して課税。 *災害等やむを得ない場合などの例外あり。	18歳になるまで引き出し不可(口座のすべての管理は親権者、16歳以上で子ども本人の管理可)。 *ジュニアISA内で株式型と預金型の間の移管は可、ジュニアISAとアダルトレギュラーISAまたはCTFとの間の移管は不可(2015年4月以降、CTFからジュニアISAへの移管の見込み)。	高等教育費以外で引き出すと、ペナルティ課税あり。スイッチングは年1回可能。
損益通算	特定口座等で生じた配当・譲渡益との損益通算は不可。	ISA以外で生じた配当・譲渡益との損益通算は不可	投資損失を課税所得から除くことも可能
口座開設数	一人一口座。金融機関の変更不可。	株式型と預金型に各一人一口座、さらに同時期には一つの金融機関でしか開設出来ない。	プラン数に上限なし(別の州でも開設可)。
導入時期	2016年1月1日からの申込で同年4月1日から。	2011年11月1日から開始 *最初の課税年度(アダルトレギュラーISAでは2011年4月6日～2012年4月5日)はジュニアISAでは2011年11月1日～2012年4月5日。	1996年1月1日から
加入者数	0歳から19歳が2232万人と日本の総人口の約17.6%(2014年6月1日現在)。	ジュニアISAは2015年4月5日現在の残高で16億5500万英ポンド(約3080億円)、うち株式型5億1500万英ポンド(約960億円)、預金型11億4000万英ポンド(約2120億円)となっている(2015年8月28日発表HMRC/英国歳入税関庁データより)。ジュニアISAに2014～2015年度(2014年4月6日～2015年4月5日)は51.0万口座/5億8200万英ポンド(約1082億円)の拠出。うち株式型は14.5万口座(同1.1%)、1億7700万英ポンド(約329億円)の拠出、預金型には36.5万口座(同2.7%)/4億500万英ポンド(約753億円)の拠出。	529プランは2014年12月末現在の残高で2479億ドル(約303兆円)となっている(2015年6月4日発表ICI/米国投資信託協会データより)。うち、投信への投資が可能な「大学教育資金貯蓄(カレッジ・セービング)型」が2239億ドル(約27兆円)とかなりのシェアを占めており、授業料を確定する公的性格が強い「授業料前払い(プリペイド)/Prepaid tuition plans型」は240億ドル(約2兆円)にとどまる。
(参考) 贈与税	受贈者一人当たり年間110万円以下は非課税(贈与税の基礎控除)。繰越不可。 *直系尊属から、30歳未満のひ孫・子への教育資金を贈与した場合は受贈者1人につき1500万円(学校以外は500万円)まで非課税(教育資金の一括贈与に係る贈与税の非課税措置、2013年4月1日～2019年3月31日)。扶養義務者からの教育資金は非課税だが、必要な都度直接これらに充てられるものに限られ、それを預金したり株式などの購入資金に充てたりしている場合には贈与税がかかる。	贈与者が7年を超えて生き続ければ非課税。7年以内に死亡すると相続税一律40%がかかる(Potentially Exempt Transfer/PET)。ただし課税対象額は6年超20%、6年以下40%、…(略)…、3年以下100%と段階的になっている。 *贈与時に一律20%という選択肢もあるが(Chargeable Lifetime Transfer/CLT)、7年以内に死亡すると相続税一律40%がかかるので(払った20%は控除されるが)、適用は少ない。	受贈者一人当たり年間1.4万ドル(約143万円)まで控除可、貯蓄型は5年分の控除枠の前倒し利用も可(最大7万ドル/約714万円)。

(出所: 日本の金融庁・財務省、HMRC/英国歳入税関庁、IRS/米国内国歳入庁、ICI/米国投資信託協会などより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

ISAは2015年4月5日現在の残高で16億5500万英鎊(約3080億円)、うち株式型5億1500万英鎊(約960億円)、預金型11億4000万英鎊(約2120億円)となっている。

そこで、1996年1月から始まり、20年近い歴史がある米国の「529プラン(教育資金積立制度)」を参考にする(\*「529」の名称は、内国歳入法529条に基づくため)。米国の529プランは、日本のジュニアNISAや英国のジュニアISAと同様、子どもの将来に備えた税制優遇制度である。大きな違いは、米国の529プランは資金の用途が高等教育であれば、年齢制限はなく、親権者以外も管理できること(\*ジュニアNISAは20歳未満、英国ジュニアISAは18歳未満、共に管理は親権者)、投資可能期間が限定されておらず大人版(アダルト/レギュラー版)への移行も無いこと、そして、非課税投資額に実質上限が無いことなど、資金の使用目的以外については、かなり自由度が高い税制優遇措置である(テーブル①参照)。

**米国の529プランは約30兆円で投信約26兆円、バージニア州「CollegeAmerica」が約23%を占める**

米国の529プランは2014年12月末現在、残高で2479億ドル(約30兆円)となっている。うち、投信への投資が可能な「大学教育資金貯蓄(カレッジ・セービング)型」は2239億ドル(約27兆円)と、かなりのシェアを占めている。もう一つの529プランである「授業料前払い(プリペイド)型」(\*授業料を確定するなど公的性格が強い)は240億ドル(約3兆円)にとどまっている。

前者の「大学教育資金貯蓄(カレッジ・セービング)型」のうち、投信保有残高は2146億ドル(約26兆円)と、投信がプランのほとんどを占めている(グラフ①参照)。これは、まだ投信全体の残高15兆8523億ドル(約1899兆円)の僅か1%強でしかないものの、伸びは大きく、期待されている分野である(\*投信全体…ETFを含まないがMMFを含む追加型)。

なお、1996年1月に始まってからしばらくは投信等の選択が加入時のみとされていたが、2001年9月に年1回の乗換えが認められるようになっていく。

529プランは州政府が設立するもので、州ごとにその取り組みに大きな差がある。特に残高が大きいのがバージニア州である(テーブル②参照)。そのプランの一つである「CollegeAmerica」は2015年7月末現在、498億ドル(約6兆円)と、529プランの約23%を占めている。この「CollegeAmerica」は直販はされておらずアドバイザー経由のみで、American Funds(キャピタル・グループ)がアド

バイザーとなっている。

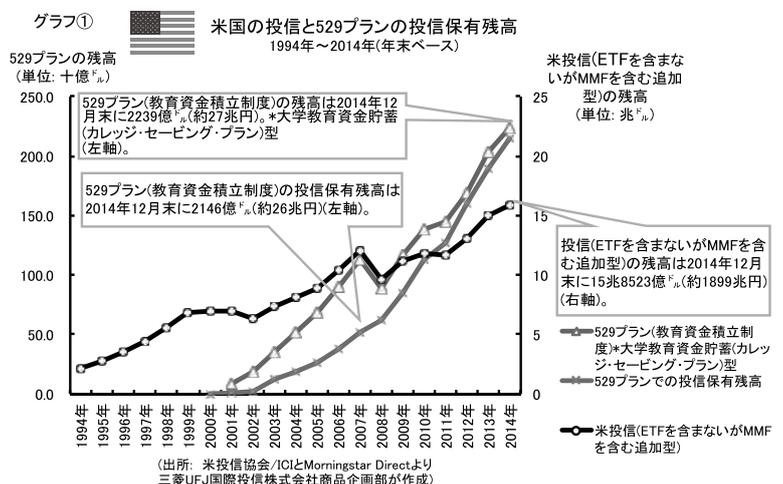
気になるのが、なぜ人口800万人台(全米50州中12位)のバージニア州で529プランがこれほど多いかである。なぜ、金融街を擁し人口2000万人近く(同3位)のニューヨーク州よりも、はるかに多いのだろうか。これは、バージニア州が教育熱心であること(教育水準は全米で上位)、アドバイザーのキャピタル・グループによる所も大きい、テーブル①で示す通り、「大学教育資金貯蓄(カレッジ・セービング)型」が複数の州で開設できる点にもある。アドバイザーがバージニア州以外にもビジネスを展開しており、バージニア州非居住者が投資をしているのである。控除ができるバージニア州での所得が無くても、それ以上のメリット(高いリターンや良いアドバイス等)が、このプランにあることをアドバイザーなどは強調している。

**米国の529プランでは投信会社はAmerican FundsとUpromise Investments, Inc、**

分類は「13～18歳:モデレート(株20～50%)」が大きな存在

529プラン・ポートフォリオの「大学教育資金貯蓄(カレッジ・セービング)型」における投資行動を見る。まず個別ポートフォリオで見ると、先述したバージニア州「CollegeAmerica」の「VA CollegeAmerica ○○529 A」が上位10本の残高の半分を占めている(テーブル③参照)。ファンド名の「VA」はVirginia/バージニア州、「NY」はNew York、ニューヨーク州のこと。「529 A」は529プランのAクラスを指し、Aクラスは基本、4%～5.75%の購入時手数料があるが(Morningstarより)、「VA CollegeAmerica ○○529 A」の場合は5.75%とAmerican Funds(キャピタル・グループ)としては標準的な個人向け最大購入時手数料となっている。

投信会社においてAmerican Funds以外にUpromise Investments, Inc.という会社が目立つ。投信会社別純



テーブル② 米国の529プランの残高上位20

2015年7月31日現在(例外あり)

	529プラン の名前(Name) *プラン名の後に(Direct)もしくは (Advisor)とあるのは、加入方法が直販 もしくは仲介業者と言う事。	529プランを 設立した 州政府(Issuing State)	運営管理業者 (Program Manager) *複数の場合もあり。	州政府機関(Trustee)	529プラン を設立した日	純資産 残高 (百万ドル)	純資産 残高 (百万円)
1	CollegeAmerica	バージニア	American Funds	バージニア・カレッジ・セービング・プラン取締役会	2002年2月15日	49,771	6,033,714
2	New York's 529 Program (Direct)	ニューヨーク	Ascensus	ニューヨーク州会計検査官	2003年11月14日	16,406	1,988,924
3	The Vanguard 529 College Savings Plan	ネバダ	Ascensus	ネバダ州カレッジ・セービング・プラン取締役会	2002年12月10日	10,901	1,321,517
4	UNIQUE College Investing Plan	ニューハンプシャー	Fidelity Investments	ニューハンプシャー州会計係	1998年7月1日	9,832	1,191,927
5	Utah Educational Savings Plan	ユタ	Utah Educational Savings Plan	Utah Educational Savings Plan	1996年10月1日	8,438	1,022,901
6	NextGen College Investing Plan Select	メイン	Merrill Lynch Pierce Fenner & Smith	Finance Authority of Maine	1999年8月5日	7,851	951,723
7	CollegeBoundfund	ロードアイランド	AllianceBernstein LP	ロードアイランド州高等教育支援局	2000年10月26日	6,789	822,996
8	ScholarShare College Savings Plan	カリフォルニア	TIAA Tuition Financing, Inc.	ScholarShare Investment Board	1999年10月1日	6,489	786,713
9	U.Fund College Investing Plan	マサチューセッツ	Fidelity Investments	MA Educational Financing Authority	1999年2月19日	4,802	582,100
10	BlackRock CollegeAdvantage 529 Plan	オハイオ	BlackRock Advisors LLC	Ohio Tuition Trust Authority	2009年9月29日	4,532	549,445
11	Michigan Education Savings Program	ミシガン	TIAA Tuition Financing, Inc.	State Treasurer of Michigan	2000年11月27日	4,248	514,999
12	Fidelity Advisor 529 Plan	ニューハンプシャー	Fidelity Investments	ニューハンプシャー州会計係	2001年7月25日	4,206	509,923
13	New York's 529 Program (Advisor-Guided)	ニューヨーク	Ascensus	ニューヨーク州会計検査官	2012年5月4日	3,599	436,332
14	Bright Start College Savings (Direct)	イリノイ	OFI Private Investments Inc	Illinois State Treasurer	2000年3月27日	3,579	433,847
15	Maryland College Investment Plan	メリーランド	T. Rowe Price Associates, Inc.	College Savings Plans of Maryland Board	2001年12月10日	3,543	429,495
16	Scholars Choice College Savings Program	コロラド	Legg Mason Global Asset Allocation, LLC	CollegeInvestServices	1999年5月1日	3,503	424,618
17	John Hancock Freedom 529	アラスカ	T. Rowe Price Associates, Inc.	University of Alaska	2001年7月1日	3,469	420,550
18	Franklin Templeton 529 Coll Savings Plan	ニュージャージー	Franklin Templeton Distributors Inc	NJ Higher Education Assistance Authority	2003年3月17日	3,298	399,837
19	Virginia529 inVEST	バージニア	Virginia College Savings Plan	バージニア・カレッジ・セービング・プラン取締役会	2000年1月1日	3,099	375,633
20	Schwab 529 College Savings Plan	カンザス	American Century Inv Mgt, Inc.	State of Kansas	2003年9月2日	2,660	322,445
	計 85プラン * 純資産は合計。					217,938	26,420,608

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

テーブル③ 米国の529プラン・ポートフォリオの純資産上位10

2015年7月31日現在(例外あり)

	ファンド名	分類 (モーニングスター分類)	投信会社名	設定日	純資産 (クラス) (百万円)	購入 時手 数料 最大 (%)	後払 い手 数料 最大 (%)
1	VA CollegeAmerica Grth Fund of Amer 529A	米国大型クロス株	American Funds	2002年2月15日	770,543	5.75	0.00
2	VA CollegeAmerica Cap World G/1 529A	グローバル株	American Funds	2002年2月15日	384,797	5.75	0.00
3	VA CollegeAmerica Amercn Bal 529A	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)	American Funds	2002年2月15日	359,356	5.75	0.00
4	NY 529 Direct Moderate Gr	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)	Upromise Inv., Inc.	2003年11月14日	339,663	0.00	0.00
5	NY 529 Direct Aggressive Gr	米国大型フレンド株	Upromise Inv., Inc.	2003年11月14日	315,312	0.00	0.00
6	NY 529 Direct Conservative Gr	コンサバティブ・アセットアロケーション(株20~50%)	Upromise Inv., Inc.	2003年11月14日	286,944	0.00	0.00
7	VA CollegeAmerica Invmt Co of Amer 529A	米国大型フレンド株	American Funds	2002年2月15日	280,914	5.75	0.00
8	VA CollegeAmerica Cap Inc Bldr 529A	モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)	American Funds	2002年2月15日	276,572	5.75	0.00
9	NY 529 Direct Growth	アグレッシブ・アセットアロケーション(株70~85%)	Upromise Inv., Inc.	2003年11月14日	264,502	0.00	0.00
10	NY 529 Direct Income	中期債	Upromise Inv., Inc.	2003年11月14日	230,397	0.00	0.00
	4502本 * 純資産は合計、その他は単純平均。				28,095,947	4.58	2.21

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

テーブル④ 米国の529プラン・ポートフォリオの投信会社別純資産上位10

2015年7月31日現在(例外あり)

	投信会社名	ポート フォリオ 本数	純資産 (百万ドル)	1本当たり 純資産 (百万ドル)	備考
1	American Funds	185	6,180,180	33,406	529プラン及びアドバイザー経由最大手
2	Upromise Investments, Inc.	336	5,290,787	15,746	アドバイザー経由6位、直販最大手(現在Ascensus)
3	TIAA Tuition Financing, Inc.	451	2,877,939	6,381	アドバイザー経由21位、直販3位
4	Fidelity Investments	272	2,558,499	9,406	アドバイザー経由5位、直販2位
5	T. Rowe Price Associates, Inc.	97	1,221,005	12,588	アドバイザー経由8位、直販5位
6	OFI Private Investments Inc	257	1,067,430	4,153	アドバイザー経由7位、直販8位
7	Merrill Lynch Pierce Fenner & Smith	143	1,052,261	7,358	アドバイザー経由3位、直販21位
8	Utah Educational Savings Plan	45	1,045,388	23,231	直販4位
9	AllianceBernstein LP	385	908,282	2,359	アドバイザー経由2位、直販13位
10	American Century Inv Mgt, Inc.	66	600,814	9,103	アドバイザー経由20位、直販6位
	全4502社の合計	4,502	28,095,947	6,241	

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

資産上位10で見ると(テーブル④参照)、American Fundsに次ぐ純資産の大きさだ。この529プラン直販最大手の会社Upromise Investments, Inc.には、米国最大の投信会社バンガード・グループが深く関係している。Upromise Investments, Incも投資顧問はしているものの、半分以上を他社に外部委託しており、その外部委託先で最大の会社がバンガード・グループである。その他、J.P. モルガン・インベストメント、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ、ブラックロックなどにも委託してい

る(\*Upromise Investments, Inc.は2013年9月に退職プラン独立系最大手Ascensus College Savingsに買収されている)。

529プランの投資行動を見るべく、個別ポートフォリオを集計した分類別純資産上位10を見る(テーブル⑤参照)。純資産の大きい順に「米国大型ブレンド株」、「13~18歳:モデレート(株20~50%)」、「モデレート・アセットアロケーション(株50~70%)」、「7~12歳:モデレート(株40~70%)」、「アグレッシブ・アセットアロケーション(株70~85%)」となっている。

さらに年初来純設定上位10も見る(テーブル⑥参照)。純設定の大きい順に「13~18歳:

モデレート(株20~50%)」、「7~12歳:モデレート(株40~70%)」、「0~6歳:モデレート(株60~90%)」、「米国大型ブレンド株」、「コンサバティブ・アセットアロケーション(株20~50%)」となっている。

「13~18歳:モデレート(株20~50%)」が純資産2位、年初来純設定1位と大きい存在である。この分類は「年齢ベース(Age-Based)ファンド」というもので、加入時の子どもの年齢レンジを参考とするものである(どう参考とするか

は後述)。提示年齢の中でリスク(株式投資比率)の高低により3分類あって、若い、つまり、大学に入るまでの期間が長いほど、株式投資比率が高目になっている。

「13～18歳:モデレート(株20～50%)」をより詳しく見るべく、個別ポートフォリオで純資産の大きい順上位10を見る(テーブル⑧参照)。「NH UNIQUE 2018 Port」が最も大きい(\*「NH」はNew Hampshire/ニューハンプシャー州のこと)。名前に「2018」とある通り、これは目標年(ターゲット・イヤー)に向け、個々にある引き下げパターン、つまり各々の「グライドパス(glide path)」に従い、徐々に(段々に)株式投資比率を引き下げていく。これは日本ではターゲット・イヤー・ファンド、米国ではターゲット・デート・ファンドと呼ばれることが多い。なお、このファンドには、目標年以降に株式投資比率を一定とする「to strategy」と、目標年以降数年かけて株式投資比率を下げていく「through strategy」がある。この「NH UNIQUE 2018 Port」は株式投資比率を2004年6月まで80%台と高めにし(\*分類は「0～6歳:モデレート(株60～90%)」)、その後、徐々に(段々に)比率を下げ、2014年9月以降に30%台という現在の比率となる(\*分類は「13～18歳:モデレート(株20～50%)」)。今後、目標年の2018年に達すると、それ以降、20%前後(\*分類は「19歳以上:モデレート(株0～30%)」)で安定する予定の「to strategy」となっている。

「13～18歳:モデレート(株20～50%)」には「OH BlackRock Moderate Port 13-16 A」というポートフォリオもある(\*「OH」はOhio/オハイオ州のこと)。13～16歳向けということはわかるが、これは株式投資比率が基本的に30%前後のままとなる(\*分類も「13～18歳:モデレート(株20～50%)」のまま)。このようにファンド名に年齢(レ

テーブル⑤ 米国の529プラン・ポートフォリオの分類別純資産上位10 2015年7月31日現在(例外あり)

順位	529プランの運用商品 (モーニングスター分類)	ポート フォリオ 本数	純資産 (百万ドル)		備考
				比率 (%)	
1	Static Large Blend	292	3,379,656	12.03	米国大型ブレンド株
2	Age 13-18 Medium Equity	285	3,371,758	12.00	13～18歳:モデレート(株20～50%)
3	Static Moderate Allocation	240	3,059,849	10.89	モデレート・アセットアロケーション(株50～70%)
4	Age 7-12 Medium Equity	263	2,739,616	9.75	7～12歳:モデレート(株40～70%)
5	Static Aggressive Allocation	159	2,271,582	8.09	アグレッシブ・アセットアロケーション(株70～85%)
6	Static Large Growth	177	1,862,903	6.63	米国大型グロース株
7	Static Conservative Allocation	156	1,647,542	5.86	コンサバティブ・アセットアロケーション(株20～50%)
8	Static Non US Equity	269	1,637,465	5.83	グローバル株
9	Static Intermediate Bond	330	1,136,002	4.04	中期債
10	Age 19+ Medium Equity	227	1,062,118	3.78	19歳以上:モデレート(株0～30%)
全24分類計		4,502	28,095,947	100.00	

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

テーブル⑥ 米国の529プラン・ポートフォリオの分類別純設定上位10 2015年7月31日現在(例外あり)

順位	529プランの運用商品 (モーニングスター分類)	ポート フォリオ 本数	2015年 1～7月 純設定 (百万ドル)		備考
				比率 (%)	
1	Age 13-18 Medium Equity	425	+750	23.40	13～18歳:モデレート(株20～50%)
2	Age 7-12 Medium Equity	356	+562	17.54	7～12歳:モデレート(株40～70%)
3	Age 0-6 Medium Equity	314	+455	14.20	0～6歳:モデレート(株60～90%)
4	Static Large Blend	296	+375	11.69	米国大型ブレンド株
5	Static Conservative Allocation	160	+374	11.68	コンサバティブ・アセットアロケーション(株20～50%)
6	Static Short-Term Bond	159	+178	5.56	短期債
7	Age 7-12 High Equity	86	+164	5.10	7～12歳:アグレッシブ(株70～100%)
8	Age 13-18 Low Equity	152	+132	4.11	13～18歳:コンサバティブ(株0～20%)
9	Age 19+ Low Equity	129	+124	3.88	19歳以上:コンサバティブ(株0%)
10	Static Money Market	181	+107	3.34	米マネーマーケット
全24分類計		4,501	+3,207	100.00	

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

テーブル⑦ 年齢ベースファンドの分類 年齢の若い順(その中でリスクの高い順)

1	Age 0-6 High Equity	0～6歳:アグレッシブ(株90～100%)
2	Age 0-6 Medium Equity	0～6歳:モデレート(株60～90%)
3	Age 0-6 Low Equity	0～6歳:コンサバティブ(株0～60%)
4	Age 7-12 High Equity	7～12歳:アグレッシブ(株70～100%)
5	Age 7-12 Medium Equity	7～12歳:モデレート(株40～70%)
6	Age 7-12 Low Equity	7～12歳:コンサバティブ(株0～40%)
7	Age 13-18 High Equity	13～18歳:アグレッシブ(株50～100%)
8	Age 13-18 Medium Equity	13～18歳:モデレート(株20～50%)
9	Age 13-18 Low Equity	13～18歳:コンサバティブ(株0～20%)
10	Age 19+ High Equity	19歳以上:アグレッシブ(株30～100%)
11	Age 19+ Medium Equity	19歳以上:モデレート(株0～30%)
12	Age 19+ Low Equity	19歳以上:コンサバティブ(株0%)

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

テーブル⑧ 米国の529プラン「13～18歳:モデレート(株20～50%)」純資産が大きい順 上位10 2015年7月末現在  
\*投資比率は各社ディスクロージャーによるもので時期は必ずしも最新ではない。

順位	ファンド名	投信会社名	設定日	純資産 (クラス) (百万円) 最新月末	株式 投資比 率(%)	うち、 米国株 投資比 率(%)	債券 投資比 率(%)	うち、 米国債 投資比 率(%)	短期金 融商品 投資比 率(%)
1	NH UNIQUE 2018 Port	Fidelity	1999/1/4	218,473	35.02	22.54	51.10	44.41	12.63
2	NH UNIQUE 2015 Port	Fidelity	1998/7/1	173,917	22.16	14.37	56.03	48.73	20.58
3	MA U.Fund 2018 Port	Fidelity	1999/2/19	115,394	35.02	22.54	51.10	44.41	12.63
4	MA U.Fund 2015 Port	Fidelity	1999/2/19	87,795	22.10	14.32	56.09	48.79	20.58
5	MD Coll Inv Pl 2018 Port	T. Rowe Price	2001/11/26	85,768	39.25	31.12	53.03	41.36	6.78
6	OH BlackRock Moderate Port 13-16 A	BlackRock	2009/9/29	75,996	32.78	19.63	35.94	26.08	28.83
7	CA ScholarShare Passive Age-Based 13-14	TIAA Tuition	2011/11/4	67,361	41.81	29.69	54.51	49.48	2.96
8	AK JH Port 2017-2020 A	T. Rowe Price	2001/7/2	67,248	43.57	32.26	49.59	39.51	4.95
9	VA inVEST Chesapeake 2021 Port	Virginia College Savings Plan	2002/1/2	59,048	39.15	20.28	25.48	14.55	2.72
10	NH Fidelity Adv 529 Port 2019 A	Fidelity	2001/7/25	53,502	39.61	26.01	48.34	42.03	10.89
425本 *純資産は合計、その他は単純平均。				3,072,348	31.44	23.96	44.57	40.93	15.01

(出所: Morningstar Directより三菱UFJ国際投信商品企画部が作成)

ンジ)のあるファンドは、株式投資比率をほぼ固定している「スタティック・ポートフォリオ (static portfolios)」と呼ばれるものである。この場合、年齢に応じて株式投資比率を徐々に引き下げていく投資家ニーズがある。これについてはアドバイザーに依頼するなどのオプションで対応することになり、のようなサービスは広く利用されている (2015年5月27日付モーニングスター 529 College-Savings Plan Landscape)。このように「13～18歳:モデレート (株20～50%)」という分類には、株式投資比率が変わる (分類が今後変わりえる) ものと、株式投資比率が基本同じのもの (分類も同じもの) の2通りあることを注意しておきたい。

マー」(1971～1974年生まれ)の2つの世代からの資金が、ジュニアNISAでは期待できる。

年齢からして「7～12歳」もしくは「13～18歳」の孫もしくは子という所で、米国の「13～18歳:モデレート (株20～50%)」や「7～12歳:モデレート (株40～70%)」のような投信に安定的純流入が起こる可能性がある。

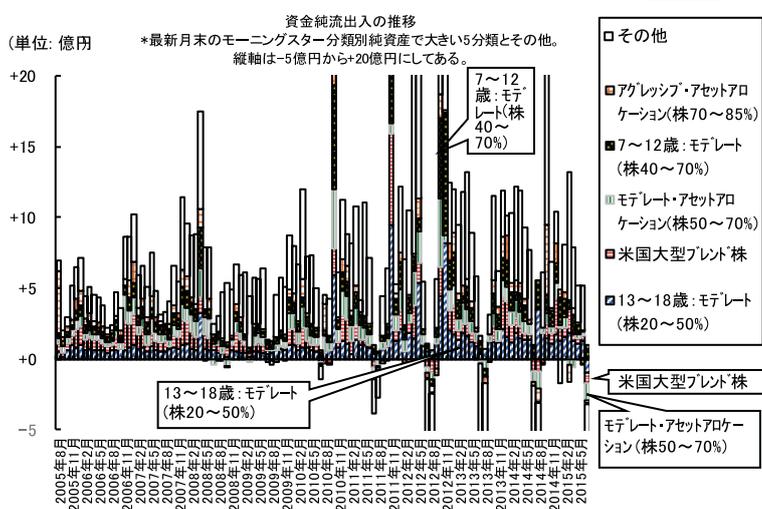
米国の529プランや人口動態等を参考にしながら、日本でも、適切なジュニアNISA向け投信が準備されることを期待する。

「13～18歳:モデレート (株20～50%)」ポートフォリオの主要分類別純設定を過去10年で見た (グラフ②参照)。「13～18歳:モデレート (株20～50%)」が2015年7月こそ純流出となったものの (\* 入学資金支払いのため、毎年7・8月は純流出となる傾向あり)、その他の期間はずっと純流入である。

この「13～18歳:モデレート (株20～50%)」ポートフォリオの安定的な純流入の原因は何か。人口動態で説明できるかもしれない。「13～18歳」は現在5～20歳の「ジェネレーションZ」(1995～2009年生まれ)の子どもが含まれるが、この人口そのものはそれほど多くなく、5歳レンジで見て20～24歳をピークに減少傾向にある (グラフ③参照)。しかし、米株高で成功体験を持つ現在50～69歳の「ベビー・ブーマー」(1946～1964年生まれ)等が、その子もしくは孫の529プランを使って投資している可能性があると思われる。

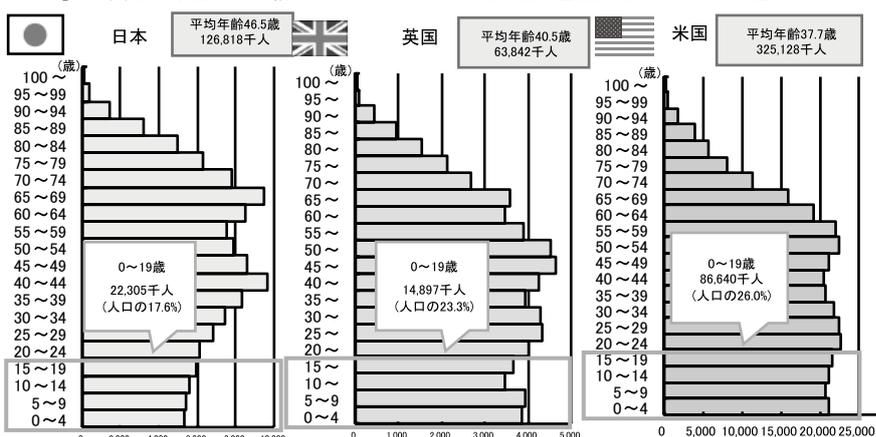
最後に、日本の人口動態はどうだろう。ジュニアNISAの対象となる0～19歳の人口比率をみると、日本は米国より(英国よりも)低い。だが、その一方、日本は世界最高齢の国であり、現在65～68歳の「第一次ベビーブーマーもしくは団塊の世代」(1947～1949年生まれ)と現在40～44歳の「第二次ベビーブー

グラフ② 米国の529プラン・ポートフォリオの主要分類別純設定の推移  
\*大学教育資金貯蓄型(College Savings Plan)。2005年8月～2015年7月



(出所:Morningstar Directより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

グラフ③ 日英米の年齢別人口構成(2015年7月1日における国連中位推計値)



(出所:国連の世界人口見通し/World Population Prospectsより三菱UFJ国際投信株式会社商品企画部が作成)

(本稿の内容は筆者の個人的な見解であり、筆者の所属する会社を代表するものではない。)

略歴: 1959年生まれ。静岡大学人文学部経済学科卒。日興アセットマネジメントのファンドマネジャー、リッパラー・ジャパン (ロイター・ジャパン) のアナリスト、ドイチェ・アセット・マネジメントのストラテジスト、国際投信投資顧問の投信調査室長などを経て2015年7月より現職。1987年より公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員。

著書: 日本実業出版社「本当に知りたい投資信託 儲け・手数料・評価のしくみ」(2007年)、青春出版社「図解『為替』のカラクリ」(2003年)、同「図解『為替』のカラクリ 賢く増やす!外貨投資入門編」(2006年)、など。